



- 「学校だからこそできる学び」というものは間違いなく存在します。専門的な言葉では「協働的な学び」といわれる学びです。例えるなら運動会や音楽会、遠足や修学旅行など、学校行事に代表される「多くの体験的な活動」を伴う教育活動がこれにあたります。
- 協働的な学びは、学校教育の中で大きな価値を持ちます。「みんなで力をあわせる」「お互いに助け合う」「役割を分担しながら大きな取り組みを行う」などの活動は、普段の個々の生活では成し得ない集団生活ならではの活動であり、子どもたちの「将来の社会生活」における基盤や土台になっていく経験だともいえます。
- 今回の運動会の取り組みにおいても、子どもたちは「自分の役割を精一杯に果たすこと」「仲間とともに一つのことを創り上げること」「みんなと心を一つにして力を合わせていくこと」「多くの人の前での緊張感に耐え頑張り抜くこと」「目標に向かって最後まで努力をすること」など、普段の生活からだけでは得られない「学校ならではの協働的な学び」を、存分に体現していくことができた貴重な機会になったのだと思っています。
- 特に応援団などの活動は「朝・夕の自分の時間を、ある意味、犠牲にしてまで」も、自分の決意や目標に向かって、継続した努力や頑張り、地道に続けることができた取り組みでありました。最後までしっかりとやり遂げた子どもたちには、何事にも代えがたい達成感や満足感を得ることができたのだと思いますし、個々それぞれでも大きな心の成長を遂げることができたのだと思っています。
- このコロナ禍の中にあって感染予防の観点から、学校園の教育活動には、さまざまな面での「活動制限」が現在でもかけられています。しかし本校園では、できる限りの工夫をして、子どもたちの安全を確保していきながら、人として大きく成長できる可能性を秘めた「学校行事や体験的な学習の機会」というものを、今後も重視しながら教育活動を行ってまいりたいと考えております。